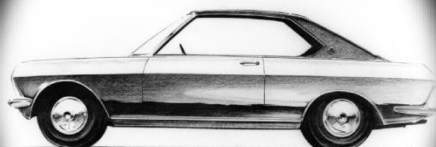


かたちの会

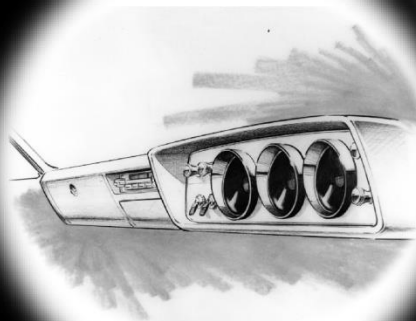
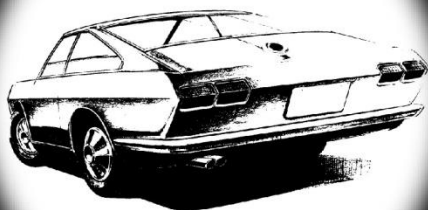
No.34

2023-11

Flexible Network with Various Experiences in Nissan Design Studio



1968 SUNNY KB10



CONTENTS

- INFINITIデザイン
- 「軍艦談義の会」
- 私の趣味の移ろい
- 山登り
- ラグビーワールドカップ
- 懐かしい笑顔
- かたちの会活性化WG
- かたちの会ゴルフコンペ結果報告
- 第6回かたちの会作品展
- 令和4年度活動報告

「軍艦談義の会」

-フリースタイル参加記-

■山本 聡

昔の話となるが2010年頃、仮称「旧日本海軍軍艦談義の会」なるものが発足した。そのメンバーは会長清水さん、幹事安井皓一さん、会員小椋さんと山本である。会活動の中心行事は3年に1度開催される観艦式への乗艦参加とそのあとの軍艦談義会である。その他随時関連行事参加も行われた。2013年の所沢航空発祥記念館の零戦見学、2015年4月へり空母「いずも」完成一般公開見学、2015年7月横須賀米海軍ルフトシップデー見学などである。



● 2015年へり空母「いずも」が完成、横須賀基地で一般公開された。飛行甲板にて。

これ以外の関連活動としては小椋さんが「昭和の日本海軍艦」として写真集をCDにまとめたことと安井さんの未完成の戦艦「陸奥」モデルの活用である。「陸奥」モデルは第2回「かたちの会作品展」に出展された物である。未完成のままだったがなんとかこれを生かしたいと考えた。ない知恵を絞って「昭和10年大改造中の戦艦陸奥」としてジオラマに仕立てあげることとした。



● 1/100モデル「昭和10年大改装中の戦艦陸奥」台座は5号ドックを建物・クレーンも含め再現。



● 2015年観艦式は抽選もれで乗艦できず観音崎で出航風景見学、背景は掃海母艦「うらが」



● 2015年組立て完了後の記念撮影。モデルの大きさが分るが台座は畳2枚を縦繋ぎしたサイズ。

1/100スケールの陸奥はすでに日本に2台存在する。今更時間と費用をかけて完成させてもそれほど希少性はない。未完成のままで見られしかし鑑賞にたえるスケールにするためには台座を横須賀5号ドックとし大改装中のジウマにすれば良いということである。ドックの形は直線構造なので割合簡単につくることができる。付随物として扉船、大型クレーン、クレーン線路、関連建物などが必要となる。ドック全体を前後に3分割し組立て式とした。陸奥スケールの運搬やジウマの組立てには市原さん竹田さんに応援してもらった。完成したジウマは横須賀市役所で展示された。現在は市役所で保管中である。

観艦式への参加は2012年までで、2015年は抽選もれで観音崎からの参加となった。2019年は4年ぶりの開催であったが式そのものが災害対策の為中止となってしまった。そして2022年の式はコロナの影響が残り一般乗艦者はなしということになってしまった。その代わりとして停泊港での一般公開であるフリートウィークが充実されることとなった。観艦式前に横須賀港、木更津港、横浜港（おおさんばし、山下埠頭、新港埠頭）およびお台場で参加艦が一般公開された。参加艦の目玉としては空母化された「いずも」、新鋭のステルス艦「くまの」、新型のミサイル潜水艦「たいげい」

などであった。軍艦談義の会としては観艦式前日のおおさんばしの「くまの」見学をねらうこととなった。当日の公開は9時からだったが整理券をその前に配布ということで20分前にそこにいったが、なんと整理券配布はとくに終わったということ。がっかりしたが、殺風景なステルス艦装備、また艦橋室はもとも見れない、などとあきらめ、午後おそくから軍艦談義を行うこととなった。しかしそこで各停泊艦は翌日の式にあわせ準備のため随時出港するとの情報がはいった。ありがたいことに出港光景や動く艦の姿を見ることができたわけである。おおさんばし先端に陣取り写真撮影もよいものが撮れた。

私はこの日以外にも単独行動でフリートウィーク見学を行った。10月29日横須賀、11月3日横浜港、そして前述の11月5日軍艦談義日横浜港である。これらで停泊艦のすべてに乗艦し、写真撮影を行った。「いずも」は横須賀とおおさんばしの両方で乗艦した。

以降撮影写真の一部を示し海自の現状を理解、楽しんでもらえたらと思います。



● 今回の軍艦談義で清水さんから提示された昭和18年横須賀軍港写真、各艦名も分るとか。



● フリートウィーク乗艦者には御朱印ならぬ護衛艦朱印が配られる。艦ごとに判形が工夫されている。

艦船の写真撮影は小椋さんの方が私より上手だが、今回は小型カメラにしていた。望遠レンズは必需品といえ重いので手持ち撮影にはむかない。私のカメラは古くて重いのもはや時代おくれといえよう。



●横須賀では戦艦「陸奥」主砲と空母「いずも」のツーショットが撮影できた。

カメラのピント合わせやブレ防止も手持ちでは難しくむしろ小型カメラのほうが適しているのだろう。今やスマホのほうがいい写真が撮れる時代なのかもしれない。



●ヘリ空母「ひゅうが」の昇降機での撮影だが空母乗艦では最大の見せ場。



●各護衛艦艦載のSH-60Kだが性能向上型改造1号機が岸壁に飛来お披露目展示された。



●輸送艦「くにさき」の艦尾には輸送用 エアクッション艇 エルキックが搭載されている。



●山下埠頭停泊のイージス艦「あたご」とステルス艦「もがみ」横並びでサイズのちがいが良く分る。



●おおさんばし、上甲板改造の空母「いずも」。ここで富士山の写真を撮っているのは私だけ。



●ステルス艦「くまの」舷側は完全な単一平面のようだが塗装が異なるのか2色に分かれている。



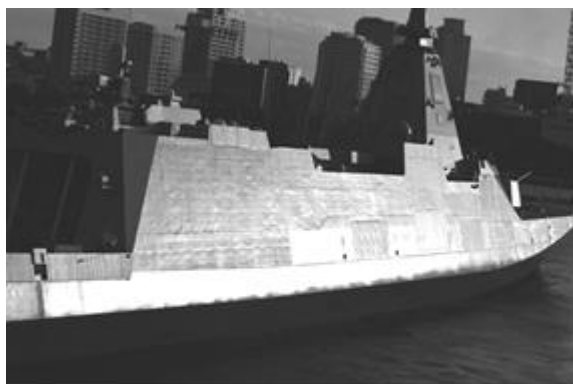
●おやしお型そうりゅう型に続く新型のミサイル潜水艦たいげい型1番艦「たいげい」昇降舵操作。



●「あたご」の出港。タグボートが随伴してるでひとつの艦隊。背景はベイブリッジ。



●「くまの」艦尾の帽振れ。昔も今も変わらぬ出港風景。



●「くまの」の離岸。舷側が夕陽に照らされ新しい軍艦の姿を強調する。



●「くにさき」に搭載されている水陸両用車 AAV7。無限軌道車だが勿論水の上に浮かぶ。

次回の観艦式は2025年である。相模湾を駆け巡る護衛艦群の姿をこの眼で見ることのできるのだろうか。その時はステルス艦の数が増え「いずも」「かが」の甲板には

F35Bの姿が見られ、その発艦も行われるはずである。そして背景には変わらぬ霊峰富士の秀麗なシルエットを臨みたいものである。

私の趣味の移ろい

千葉 陶

昭和40年に日産自動車に入社し鶴見の設計部造形課に配属されました。その後10年間、デザイン部門に在籍後、本社の国内営業部門、海外営業部門に17年間在籍しました。入社して間もなく横浜のYMCAのデッサンの教室に入り、それが縁で、先生の横浜の自宅の教室に参加し、油絵などを始め、数回グループ展に参加しました。

当時の油絵



30代に入り近所で始まった京都美大出身の夫妻の陶芸教室に参加。3年ほど続けました。当時の作品はまだいくつかは実際に使用しています。

30代後半に小学生の息子が入隊したのを受けボランティアでボーイスカウト活動に参画し、地域活動として実践しました。通常の活動の外、夏の野外キャンプや冬の越年ハイクなど自然に触れ合う事ができました。この活動のため「かたちの会」からのゴルフのお誘いは断らざるを得ませんでした。

50歳の時、関連会社で英語教育など手掛けるクジラ社に出向しユニークなクジラ社長の元、営業活動に従事しました、お客さんは日本人なので英語力はあまり上達しませんでした。ある社内会議で英語でしゃべらないとダメな場面でしたが、私が英語でしゃべり始めると社長が「千葉さん、日本語でしゃべってよ」と。社長は日本語の語彙を英語に翻訳した辞典を出版、また異文化交流に関する講演をやるほど日本語が堪能な人でした。日本の会社ですが社長がアメリカ人であり、長期休暇は事前に話しておけば適当に取得でき、海外旅行に利用させてもらい、いい経験をさせてもらいました。

この会社に在任中、健康第一と、少し怪しげとは思いましたが「西野呼吸法の会」に参加しました。三か月経過したころから朝の寝起きが良くなり、精神的に余裕が生まれました。この呼吸法は息をゆっくり吐くことと、その時、身体力を抜くことが第一と教わり、その後15年も続けました。

60歳近くなるころ妹と交互にお袋の介護をしなければならなくなり会社の定款を変更してもらい、定年退職させてもらいました。同時に社会との接点も必要と退職金の一部で株式投資を始め、現在も続いています。介護の必要がなくなった69歳からボケ防止のため水彩画を始めました。

初期の水彩画



ちょうど「かたちの会」展があるとのことで参加。ほとんど同時期に近くの画廊で素敵な水彩画を閲覧しました。その方が赤坂孝史さんで、彼の絵画教室に参加しました。それ以来8年間、水彩画の基本は明暗を見極めると色彩の微妙な変化を見逃さないよう口を酸っぱく指導されました。率直で飾らない人柄で人気があります。赤坂孝史さんは水彩画の手ほどき本を何冊か出しておられます。

70歳代に入ってから間もなく、かたちの会展を見た先輩から同窓生有志で45年前から続いている「叡展」に誘われました。その後、10年間、毎年出品しています。「叡展」の名前の由来は出身大学がある京都の比叡山に由来するとのこと。会場は東京、日本橋の“ギャラリーくぼた”で、参加人数は15名程度。作品は油絵、水彩、CG、書道、陶器、絵本、能面、版画など多岐にわたっています。また、故郷が京都であり、懐かしい友達、知人にも定期的に会えると、叡展と同様の企画で継続していた「四明展」にも参加しました。その後は、この三か所の展覧会には欠かさず参加しており、傘寿を過ぎた今も意欲だけは衰えず、気力、体力の続く限り頑張りたいと願っています。

最近の水彩画



山登り

-登山の楽しみ-

■ 斎藤仲夫

私の登山スタイル

山登りは20代前半の頃から始めました。今では日本百名山踏破を目指す登山者も多いのですが当時は百名山という言葉聞くことも殆ど無く、私の登山も気に入った山を山小屋利用で景色を楽しみながら歩くという山登りスタイルです。

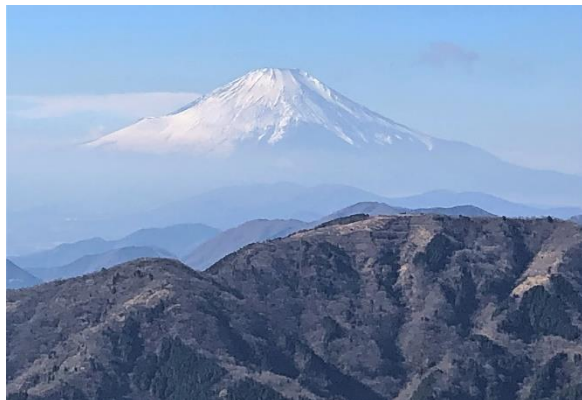
日産の現役時代の若い時は会社の夏休みを利用して何泊かで溝呂木君や池田君達等と北アルプスや南アルプスの3000m級の山々を縦走しました。



剣岳山頂で溝呂木君と （1978年）

また近くの丹沢や奥多摩などもトレーニングを兼ねてよく登っていました。最近では百名山や二百名山なども多少意識してテニス仲間や既に二百名山を踏破した友人と宮之浦岳や谷川岳や至仏山・赤城山・磐梯山・戸隠山等に登っています。今年の8月には登頂解禁となった木曽の御嶽山に登って来ました。さすが名山と呼ばれる山は途中の景色や頂上からの展望が格別良く、登りがいいようです。

今も丹沢・奥多摩はよく行きますが、朝の天気を見てから行ける大山はかれこれ250回以上登り、去年は12回登りました。



大山山頂からの丹沢と富士山（2023年）

槍ヶ岳登山

北アルプスの槍ヶ岳も好きな山のひとつでルートを変えて5回登っています。



穂高・槍縦走路から槍ヶ岳を望む（1979年）

槍ヶ岳という名前は皆さんもご存じかと思いますが、ですので登ったルートを紹介させていただきます。

燕岳から大天井岳、西岳を経由する人気の表銀座ルート（2回登山）。烏帽子岳から鷲羽岳、双六岳を経由する長丁場の裏銀座ルート。奥穂高岳から北穂高岳、南岳を経由する健脚向きの槍・穂高縦走路。上高地から槍沢に登るポピュラーな槍沢ルート（4ルート）です。下の山岳地図の写真を見て頂ければ概要がわかるかと思います。



いずれも2～4泊の山小屋利用で登っています。5回目は68歳で登りましたが山頂直下の岩登りでは岩肌が経年劣化でもろくなっているように感じ、掴まっている岩が剥がれないか、もし足が滑ったらなど若い時には無かった不安と緊張感を感じました。それだけに登り切った山頂からの360度の景色はまた格別でまさに壮観でした。

いいのか悪いのか年をとると色々な事を考え過ぎ臆病になっているのかも知れません



槍ヶ岳山頂直下の梯子を登る（2016年）



槍ヶ岳登頂で友人と（5回目、2016年）



奥穂高岳山頂から槍ヶ岳を望む（2019年）

大変だった富士登山

富士山も吉田口の五合目から4回登りました。最近登ったのは一昨年、72歳の時ですが大変でした。

五合目迄、車で行けるのは3日後迄と知り天気も良さそうなので、思い立った次の日、日帰りのつもりで朝2時過ぎ殆ど眠れないまま車で家を出ました。

中央高速で向かい五合目まで歩いて30分程の駐車場（登山者は手前の駐車場との指示）

に着いたのが4時過ぎです。

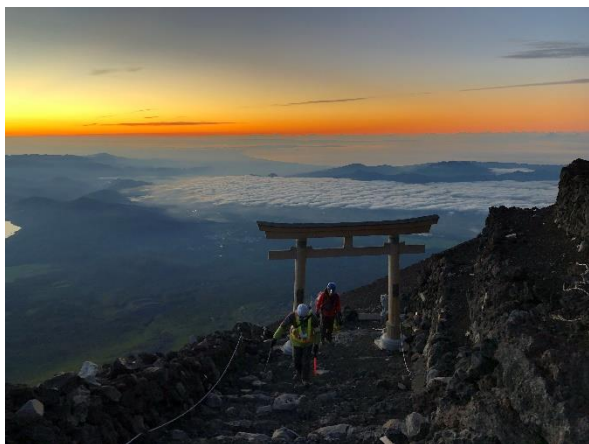
五合目を4時30分頃から登り始めいつもの調子で一気に登って行ったのがいけなかったようです。七合目辺りから頭が痛くなるやら足は上がらなくなるやら、とても登れる状態ではなくなってしまいました。

止む無く八合五勺の山頂まで最後の山小屋で横になり休憩することにしました。

体調が回復しなければ泊まることもあり得ると思い小屋の方に尋ねると「休憩か泊りか先に決めて下さい、休憩で泊りに変えた際は休憩の3500円プラス宿泊の13500円頂きます」との事。未だ朝の9時、どうしたものかと迷いましたが、早々と宿泊することに決断にしました。床に入り横になっていましたが、山小屋の横で休憩する登山者の話声が大きく、頭痛も一向に治まらず、何とか夕食を済ませ再び床に就きましたが何か呼吸が苦しい感じで殆ど眠れなかったような気がします。

朝3時、頭痛も治まったようなので朝食を済ませ、念のため携帯用の酸素ボンベを買い、ヘッドライト（常時携帯している成果が出た）を点け大勢の登山者が登る暗い中を頂上に向かいました。眠れなかった割には長時間、横になり身体を休めていたのが良かったのか、幸いなことにこの日は体調も良く順調でした。鳥居をくぐり、頂上について間もなくご来光を拝み登頂に感謝しました。

神社では70歳以上の参拝者という事で記念品と盃を頂きました。



富士山4回目登頂（2021年）



富士山頂からの景色 手前左が山中湖、奥側の山が丹沢山塊で右端が大山（2021年）

快晴の山頂からは関東方面から静岡方面、山梨、長野方面の南アルプスや北アルプス、八ヶ岳等の山々や山の間に見える街が一望に見え素晴らしい景色でした。

剣ヶ峰から火口湖一周も実に気持ちのいいお鉢巡りになりました。元々富士山五合目から上は樹木も無く川や滝があるわけでもなく山自体は岩だらけでひたすら登るだけですが、遠くから富士山が見える場所は富士山側からも見える訳で、富士山からみる下界の景色は本当に幻想的でもあり素晴らしいです。



富士山剣ヶ峰（2021年）

帰りは河口湖の温泉でのんびり汗を流し無事帰宅することが出来ました。今迄、富士山や3000m級の山には何度も登っていましたが高山病になったことは無かっただけにショックでした。高山病予防のためには高さに慣らしながらゆっくり登る。水を多めにとり十分な睡眠が必要でしかも高齢者は2000m程度でも成り易いとの事。ある程度分かって

いるつもりでいましたが甘く見ていました。この富士登山では高山病になり易い条件が重なってしまっていたようです。年齢も自覚しなければと、いい勉強になりました。

山登りの魅力

「わざわざ苦労しよく好き好んで山登りをする」と耳にすることが有ります。なぜ急坂な山道や危険な岩場を重い荷物を背負いながら好んで登るのか、私なりに改めて考えてみました。いくつか登る理由が上げられます。

①登山道での自然との出会い

移動し歩く度に変化する景色、四季折々色づく高山植物や多様な草木と白い岩肌のコントラスト、溪谷を流れる水の音や流れ、迫力ある大瀑布の滝、小鳥や雷鳥との出会いも楽しみの中のひとつです。こんな日常では見られない大自然との出会いがあります。



木曽駒ヶ岳への登山道（2022年）

②登頂の達成感と雄大な景色

何時間も苦労し到達し尾根や頂上に着いた時は、ついに登ったという達成感が漲ります。。山頂から見る景色も素晴らしく、青い空の下どこまでも続く山の稜線、山並みの遠くに浮かぶアルプスの山々や富士山等、今迄登った山々を発見し眺めるのも感慨深く楽しみです。山小屋に泊まって見る紫から赤、ピンクと色を変えながら山並みを昇って来る朝焼けも感動です。

槍ヶ岳山頂から見た雲海に浮かぶ山の稜線を赤く染めて沈む夕陽とダイナミックな滝雲も

忘れられません。



槍ヶ岳山頂から夕陽と滝雲（2016年）

山頂からの景色も感動ですが、頂上から続く稜線の尾根歩きも遮るものが無く天空を歩いているようで実に爽快です。

③登山者や仲間との交流

山登りをしていると上る途中や山頂等で色々な登山者と出会います。カップル、単独登山、外国人等様々です。共通の楽しみで同じ苦労し登る者どうし、すぐに打ち解け会話がはずみます。数年前、八ヶ岳の編笠山頂上で知り合った兵庫県の50代の医師とは、その後も何度か山の麓で待ち合わせて登っています。昨年は木曽駒ヶ岳と一緒に登って来ました。また最近はテニス仲間と登る機会も多く天狗岳や鍋割山・赤城山等に登っていますが大勢の方が景色や花々を見ての感動を共有出来て楽しさも倍増します。下山し近くの温泉にゆったり漬かるのも楽しみのひとつです。



テニス仲間と谷川岳、西黒尾根登山（2020年）

ラグビーワールドカップ

- 2023 フランス大会 -

■竹田 勲

2023年、フランスにて上記ラグビー大会が開催されます。2019年はご存知の通り、日本で開催され、日本チーム “ブレーブ・ブロッサムズ”（勇敢な桜戦士）は大活躍しました。前は3勝でも予選通過はなりませんでした。日本大会では予選で4勝を挙げ、ベスト8に勝ち進み、今回のフランス大会では予選を戦うことなく、無条件に出場権が与えられました。ジェイミー・ジョセフ監督（日本大会からの継続）の下、対外試合を組みながら、着々と準備が進んでいます。また代表選手も、例えばサントリー所属の松島幸太郎選手は日本大会の後、フランス トゥールーズのチームに加わり、現地での経験を積み、鍛え直して、現在は日本代表の候補メンバーと共に代表合宿などに参加。2023年は新しくなった言わば社会人ラグビーのトップリーグで東京SG（サントリーサンゴリアス）に所属、早くも日本チームで活躍中です。フランス大会でもウイングあるいはフルバックとして活躍が大いに期待されています。フランス大会でも前回同様日本チームの活躍を祈念し、目標のベスト・フォーを目指して、頑張ってくださいと思っています。

ということで、今回はフランスでのラグビーがどんな歴史を踏まえ、大会開催に至ったかを簡単に記載し、皆さまの御参考にして頂ければと思います。と言っても、小生フランスのラグビー事情を把握しているわけではなく、この文章記載のきっかけは山梨県北杜市金田一春彦記念図書館に大部な「ラグビーの世界史 楕円球をめぐる二百年」トニー・コリンズ著（北代美和子訳 白水社刊 2015年、2019年）を見かけ、この中でフランスのラグビーの歴史が意外と詳しく記載されており、これを参考にこの文章を書かせてもらおうと思い付きました。但しこの書籍の巻末に「書籍のコピーはお断り、PCにコピーすることは厳禁」とあり、ここ迄強く述べら

れているのは例を見ませんので、コピーでは決してなく読後感として記載して行くことを心掛けたいと思います。

フランスでは、ヨーロッパ最強の国代表選手で構成されるチームが集合。覇権を競い合う6ネーションズラグビー英連邦の4か国イングランド、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、大陸側からイタリア、そしてフランスが加わり、この6か国が毎年秋から冬に掛けて、ホームアンドアウェイで激しい戦いを行い、最近では英国に負けずその強さをとみに発揮しているのがフランスチームです。そんなことで2019年日本大会に引き続き、4年に一度の大会、2023年にはフランスが開催国に選ばれたのだと思います。

そのフランスのラグビーですが、小生の若いころは「シャンパンラグビー」などと言われ、華麗なパス回しで相手を翻弄し、グラブ一杯、あるいはほんのわずかなライン際を走り抜けるどちらかと言えば、バックスが主体のチームで、世界の感嘆をほしきままにしたのをよくTVで見たものでした。この戦術も世界が知ることになり、当然ながらその対抗手段が考え出され検討されて、フランスチームとしても、シャンパンラグビーに拘らず、さらなる戦術を考えざるを得ない状況となり、最近では、当然ながらあのラグビーの肉弾戦、立派な体格のフォワードがしっかりとボールを確保、バックスと一体になったパスあり、キックあり、鋭いタックルあり、モールあり、素早いジャッカルあり、また高いラインアウトでの奪い合いなど、色々な戦術を駆使出来る、世界に伍するラグビーを展開出来るチームに成長したと思います。

さてここからはフランスラグビーの歴史に話題を変えていきたいと思います。あの有名なイギリス ラグビー校で、エリス少年がフットボール試合でボールを足で処理することになっていたところ、思わず、ボールを手を持ってゴールに駆け込んだことから、新たなゲームが始まり、名誉のため学校名を取り、「ラグビー」の名が付けられたのが始まりとのこと。当時英国の私立学校はしっかりした教育方針にのっとり、とくにこのラグビー校の校長が、勉学だけでなく、スポーツにより、規律をしっかりと守る立派な生徒となって欲しいと願い、このラグビーが重視されるようになりました。

1880年代、フランスでは英国の移住者が、このスポーツをフランスに持ち込み、特に南フランスのワイン産地ボルドーで、ラグビー試合がフランス人によっても行われるようになりました。フランス全土でこのゲームに興味を深め、パリに拡大。さらに南フランスでは最南端のトゥルーズまで拡大し、ここがフランスラグビーの中心になりました。

第1回の各地域のラグビーチームによるフランスラグビー選手権は1892年（2022年から数えて130年前、日本では明治25年。自慢ではありませんが、我が高校ラグビーは1923年創部 本年創部100周年を迎えます。）に開催されました。

フランスと言えは忘れてはならないのが近代オリンピックの父クーベルタン男爵。この方もラグビーの特にスポーツにおける規律、友愛、愛国心、自己犠牲などそのころを愛されました。1900年パリ万国博覧会の一部としてオリンピックが開催され、種目の中にラグビーが選ばれ、参加はわずか3か国、英国、ドイツそしてフランスでした。フランスだけが国代表選手だそうで、その為か、あるいは主催国の特権かフランスが見事？！に優勝。これがフランスの国際舞台への切っ掛けになったと思われます。

1911年には5か国対抗ラグビー（シックスネーションズではなく、イタリアを除いた5か国）の開幕戦が行われ、フランス国代表はスコットランドに初勝利。恐らく現在の

シックスネーションズラグビーと同じ、すべてのチームが国代表で構成され、そのチームに勝ったということは、本当に国際舞台に上がり、認められたということになるでしょう。随分と強くなったものですね、素晴らしい！

喜んでばかりは居られません、第1次世界大戦が勃発。そんな中、英国を始め、英連合国 ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ、カナダなど、それぞれの国の軍隊が選手を派遣するラグビーチームが対戦する時代になり、ここでもフランス軍隊はそれなりの戦績を上げることが出来たそうです。

1920年代 フランスではファッション産業が隆盛し、各企業がラグビーチームを宣伝媒体に使用、試合終了後には選手と観客がもみ合う事態にもなり、アマチュア精神が重要なラグビーでは、フランスは失格ということになり、残念ながら ファイブネーションズラグビーへの参加が拒否されます。フランスラグビー界にとっては、折角今迄努力を重ねて力を付け、積み上げてきたことが台無しになってしまいました。先に述べた書籍では1920年の5か国対抗でフランスはアイルランドに初勝利の記載があり、追放というのは本当なのかなと疑がわれます。小生には正解を調査する手段は残念ながら持ち合わせませんので、そのままです。

またこの年代には恐らく身体のぶつかり合いが激しく、タックルで死亡事故が発生、死のラグビーと言われる時代だったそうです。前に書かせてもらった記事で、わが高校、大学とも小生の入学、入部前に死亡事故が発生。学生ラグビーがこう言った状況ですから、推して知るべしで国対抗ともなれば、その凄まじさは比較にならないことでしょう！

1924年 オリンピックパリ大会が開催され、ラグビーも種目として採用されました。出場は ルーマニア、アメリカ、そしてフランスのわずか3チームだったそうです。万博のときの繰り返しのようなですね。

1934年 ヒトラードイツがポーランドに侵入、フランスとも戦争状態に陥りました。

1939年 英国連合諸国がフランスの5か国
対抗追放に関して、和解の申し入れ。

1947年 第2次大戦後5か国対抗ラグビーが
再開されました。伝統的な強豪国を超えて、
新しい国々が台頭、特にイタリアが頑張って、
ラグビー人気がさらに高まりました。

1954年 フランスの地でプロチームの集まり
であるラグビーリーグ ワールドカップラ
グビーが開催（アマチュアはラグビーユニオ
ンと称する別組織があります。プロとアマ
中々相容れない状態が起きていますね。日本
でも昔の社会人ラグビーで会社の仕事をしな
がらチームに所属する選手、あるいはプロと
して単独でチームに所属する選手など、中々
理解困難な事態もありましたね！）

1960年 5か国対抗ラグビーでフランスチ
ームが残念ながら単独優勝ではなく、勝率同じ
の同時優勝を獲得。

1961年 フランスチームが念願の単独優勝
を勝ち取り、またこれ迄フランスチームはこ
の大会3回の同時優勝を果たし、これまたフ
ランスの一大躍進ですね！

1987年 ラグビーユニオン ワールドカッ
プラグビー第1回大会がニュージーランドと
オーストラリアの共同主催で開催。フランス
チームも国代表選手を派遣。以後本大会は日
本大会まで都合9回開催され、フランスチ
ームは欧州代表として、全9大会連続出場。

また第1回大会では主催国のオーストラリア、
ニュージーランドに勝利優勝を果たしまし
た！負けた2か国はラグビーではアマチュア
スポーツの権化のような国。これでラグビー
のアマチュア問題が解決に向かうことになり
ますね！！

以上、フランスのラグビーの取り組みにつ
いて、本当に概略記載させて頂きました。こ
れも「ラグビーの世界史」の読後のお陰です。
コピーをしたという訴えの無いことを祈り、
キー叩きを終わりたいと思います。

もう一つ、興味のあるお話しです。フラン
ス代表のジャージの胸には赤い雄鶏のマーク
がついております。これが意外と、時代によ
りデザインの更新がされています。添付の写
真をご覧ください。

日本代表の桜のマークも実は、変化があり
ます。最初は3個の桜の花の内、一つが蕾に
なっています。ラグビー発祥の地、イング
ランドロンドンの伝統あるツイッケナムスタ
ジアムに於いて、日本代表がイングランド代
表との対抗試合に臨んだ時、この蕾が見事に
花開きました。当時は国対抗の試合が個々に
組まれていて、格下のラグビーの歴史が少
ない日本代表がイングランド代表と試合をす
ることは許されなかったわけですが、やっと
努力が実り、対戦が叶いました。これも併
せて写真をご覧ください。

最後に日本チームのラグビーワールドカッ
プ2023 フランス大会について、日本は下
記日程で4か国と予選リーグを戦いました。

第1戦	9月10日（日）	チリ
第2戦	9月17日（日）	イングランド
第3戦	9月28日（木）	サモア
第4戦	10月8日（日）	アルゼンチン

予選リーグは全勝、準々決勝も勝利、念願
のベスト4達成。

これは11月発行予定の会報誌には原稿記
載時期が早く、小生の予測、願望の記事で
す。（結果が違っていたらお許し下さい。）

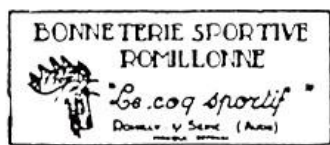
長文駄文 最後まで読み頂き幸いです。

フランス代表マーク

2022年赤い雄鳥



1948年



ルコックスポルティフと雄鶏が
描かれた初めてのラベル

1950年



1975年



2006年



2021年



日本代表マーク



2022年満開の桜



蕾の桜



かたちの会活性化WG

-アンケート結果の報告-

■國本、岡野、望月

■現状の課題とWGの発足について

かたちの会が発足して20年が経過しますが、近年若い世代の加入者が極めて少なく会員の高齢化が進んでいます。このままでは、かたちの会の活動継続が困難になるのみならず、近い将来かたちの会の存続が厳しい状況になるのではと心配しています。そこで若い世代の加入者増大につながる具体的方策の提案と実行を進めるために、かたちの会幹事会の承認のもとにかたちの会活性化WGを発足いたしました。

■アンケートについて

WG活動を進めるにあたり、みなさまのご意見を参考にしたくアンケートを行いましたのでここにサマリーを報告いたします。

回答者の属性

回答者41名

男性36名 女性5名

会員29名 非会員12名

50～60代20名 70代以上21名

かたちの会の活動についての認知度

かたちの会の存在	100%
アーカイブ活動	81%
赤レンガの作品展	80%
会報誌	71%
総会（親睦会）	68%
ゴルフコンペ	54%

今後のライフプランとして行いたいこと

趣味や好きなこと	82%
友人との交流	69%
地域貢献	36%

今後かたちの会の活動に求めること

ホームページの作成	81%
テーマ性のある旅行	69%
SNSでの交流	66%
趣味の会、交流会	59%
気軽な親睦会	59%

■ アンケートへのコメント

アンケートの最後にかたちの会へのコメントをいただきました。今後の活動支援の参考にしていただけると助かります。

<現在のかたちの会について>

肯定的

レンガ倉庫で催される行事には日産デザインの誇りを感じる
OBOGをつなぐ組織があることは必要だと思います
日産デザインOBとして「かたちの会」は貴重な親睦の場、将来も続けてほしい

否定的

かたちの会が何をやっているのか不明な点が多い
「かたちの会」という名称自体が限定的、排他性を象徴している印象
かたちの会という名称から美術系の趣味を持った人のみの活動だと感じる
定期的に活動しないとじり貧に成り消滅してしまうのが心配

<若い会員が少ないことに関して>

現状について

ある年代でブツリ切れている気がする
活動に参加する人が固定していて、次世代に引き継がれていない
メンバーが固定化しており積極的に参加したいという思いが低くなっている

方策案

OBOG方へのアプローチが不足しているように思える
若い方の加入促進のための基盤づくりが必要
不参加者からその理由を吸い上げる事が大切かと思います

<今後の活動について>

情報共有、情報提供に関して

本音で語り合える情報共有や交換できる友が必要だ
スマートフォン、PCを活かした情報提供(会員相互の)出来る仕組みが欲しい
多様化の時代、情報の共有化と仕掛けが必要

交流に関して

会費不要の気楽なSNS的な交流会的な組織であって欲しいです
肩苦しく無い気軽に参加できる呑み会とか良いですね
同じ目標に向かって苦労や喜びを共有した仲間が集える親睦会が欲しい
会全体ではなくサークル的な個別の親睦の場が欲しい

現役との関係に関して

現役世代との橋渡しの活動があると良い
現役と交流できるイベントを通じ次世代にバトンを渡して行くことが必要

■ 今後の進め方

アンケートの結果を踏まえて今後下記活動を行っていく予定です。

1. ホームページを活用した情報提供の促進

かたちの会の目的の明示

ホームページからの加入手続き

会員以外のOBOG活動情報の提示

2. かたち会に加入したくなる方策の検討と実行

世代に合った魅力的な活動の実現

ex. テーマ性のある旅行、趣味の会、気軽な親睦会・・・

■ WGからのお願い

現在、皆様からのご意見をいただきながら活動を行っていますが、ホームページに掲載する情報提供や、魅力的な活動の検討等お手伝いしていただける方を募集しております。ご興味あるかたは下記まで連絡をいただくと助かります。

問い合わせ用メールアドレス：katachinokai@googlegroups.com



2023年には作品展も再開されます（写真は2018年）



皆様からのご意見をいただいてより魅力ある会にしていきたいと思っています

「かたちの会」ゴルフコンペ結果報告

ワークショップ「かたちの会」ゴルフサークルの活動報告です。

新型コロナの感染が始まって3年となりましたが本年になってやっと縮小傾向になり一安心といった所です、高齢者の多いかたちの会なので、感染には注意しながらの開催になっています。

今年度も第75回から78回まで4回実施できました。

第77回からは新たに斎藤仲夫さんがメンバーに加わり以前のように賑やかなコンペになりそうと思った矢先、増本さんが病氣療養で長期離脱となってしまう残念です。下記にそれぞれの会の上位3位までを記載します。

第75回 榎谷さん



第78回 スタート前



第76・77・78回 西山さん



第75回 足柄森林ゴルフ
令和4年6月23日(木) 天候＝晴れ

	氏 名	Gross	HDC	NET
1	榎谷憲一郎	86	14	72
2	西山 勝郎	85	2	73
3	荒川 照男	89	1	88

第76回 足柄森林ゴルフ
令和4年9月22日(木) 天候＝晴れ

	氏 名	Gross	HDC	NET
1	西山 勝郎	80	2	78
2	荒川 照男	81	1	80
3	舛谷憲一郎	100	10	90

第77回 PMG御殿場ゴルフ
令和4年12月1日(木) 天候＝晴れ

	氏 名	Gross	HDC	NET
1	西山 勝郎	75	1	74
2	荒川 照男	81	1	80
3	舛谷憲一郎	91	9	82

第78回 PMG御殿場ゴルフ
令和4年3月30日(木) 天候＝晴れ

	氏 名	Gross	HDC	NET
1	西山 勝郎	90	1	89
2	渋谷 久紀	112	22	90
3	佐渡山安彦	102	12	90

第6回かたちの会作品展

～開催報告は後日～



■市原直通

かたちの会作品展は2005年に始まり今年10月で第6回を迎えました、第2回と第3回の間に、平塚美術館で日産デザインセンターが開いたカーデザイン歴史展の際に“ぜひOBたちの作品も参加して欲しい”との要望に応じて、ギャラリー室で開催しました。これを加えると、今回は7回目の作品展ということになります。

第1回から第6回の展示は横浜みなとみらいの赤レンガ倉庫で、第1回では1号館2階1室のみでしたが、第2回からは3室の全室借りきりで実施してきました。会長の佐野さんからの掛け声に始まり第1回では34名の方々が参加しています。調べて見ますと第1回から第6回通して元気に参加しているのは12名です。途中病気、またお亡くなりになった方も居ます。初回出品いただいた方も約20歳お年をとられたことになります。今回の平均年齢は75歳以上になりそうです。残念なことに、若い人達の参加が余りありません。後期高齢者が多く頑張っています。

私は内野さん、水嶋さん、前田さんから託されて第2回から今回まで世話役として日産時代にお世話になった先輩、仲間達の恩返しと思って続けてきました。前回で限界を感じ山縣さんに引き継ぐ予定でしたが体調を崩されたため、第6回も私が皆さんの協力を得て、引き続き担当してきました。

出品者は毎回 現役含め約40名近い方々で、3,000～4,000名余りの方にご来場ご高覧戴いています。赤レンガ倉庫に遊びにきた一般の方々始めご家族、親戚、そして日産時代の設計、工場の仲間、同業他社の方もいます、また新聞を見て「面白そうだから」など



↑ 2回展



3回展 →



前回・5回展

といわれた方や、海外の人たち含め幅広く見ていただきました。

アンケートでは「会社組織OB会でこんな行事が出来て幸せですね、うらやましい」「素晴らしい作品展で毎年開催して欲しい」「多岐に渡りどれもプロと引けを取らない作品ばかり、さすがデザイナー、モデラーの集まりですね」等と嬉しいご意見も数多く頂きました。私もこの展覧会は“一企業一部署”でこれだけ多くの人達での芸術の展示会は他に例がなくギネスに提案したいと思うほどです。

第6回の開催は会報誌の印刷と重なり報告は記載できませんが9月現在順調に進捗しています。天候も良く来場者も多く皆さんの協力を得て成功を願います。報告は次の機会に致します。



令和4年度 活動報告

■ 若林 昇

会員の皆様 お久しぶりです。

コロナの混乱に端を発して、今では国内外でいろいろと乱れが発生しております。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

かたちの会としては、デザインセンターの皆様のご理解を頂きながら過去の車のデータ化の継続、併行して当時の開発担当だったOBへの聞き取り、インタビューの実施。

また新たに参加いただいた若手幹事さん（國本さん、岡野さん、望月さん）を中心に新たな「かたちの会」の在り方や情報機器を利用したスピーディな連携、情報交換の方法などに取り組んでいます。総会、秋の旅行については実施できませんでした。

最後に会員の方々の消息です。

渋江建男さん、渡辺弘文さんのお二人が鬼籍に入られました。まことに残念です。心中よりお悔やみもうしあげます。

【7月の幹事会写真】
望月さん、岡野さん
は欠席でした。



写真スキャニングで
データ化してパソ
コンに入力



■ 会費納入のお願い

会費未納の方は、郵便為替振込み
票にて振込みをお願い致します。
（年会費2000円）

〔振込先〕

口座番号 : 00170-5-725185

加入者名 : かたちの会

●発行 2023年 10 月
●発行人 若林 昇
●編集 「かたちの会」編集事務局
●事務局 〒243-0192 厚木市岡津古久560-2
日産自動車㈱ テクニカルセンター
デザイン本部内
FAX : 046-270-1564